

**令和元年度**

# **災害（復興）視察報告**

**（東日本大震災から8年半 宮城県の復興状況）**

**（一社）鳥取県測量設計業協会  
総務委員 石田 克志**

# 東日本大震災と視察場所

岩手 (約6,300人)  
浸水面積 58km<sup>2</sup>

宮城 (約12,000人)  
浸水面積 327km<sup>2</sup>

福島 (約4,000人)  
浸水面積 112km<sup>2</sup>

※人数は死者・行方不明者

## 東日本大震災

平成23年3月11日

マグニチュード9.0

最大震度 7

津波高さ(観測点付近) 6.2m~11.8m

津波遡上高さ 20.4m~39.2m

死者・行方不明者 約2万2千人超

おながわ  
女川町

石巻市

仙台海岸

福島第1原発

### 宮城県

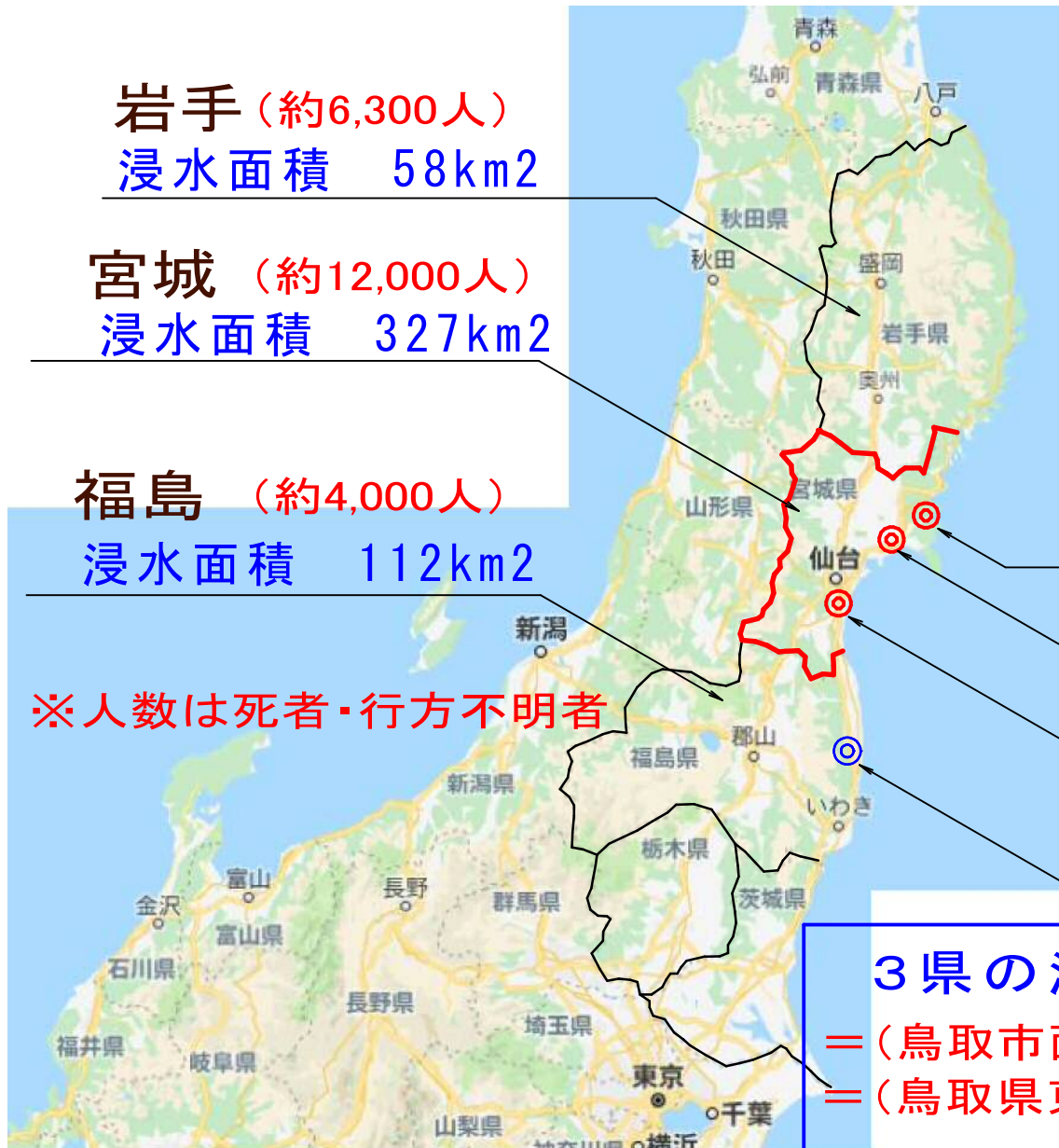
面積：鳥取県の2.08倍

人口：鳥取県の4.03倍

3県の浸水面積 計 497km<sup>2</sup>

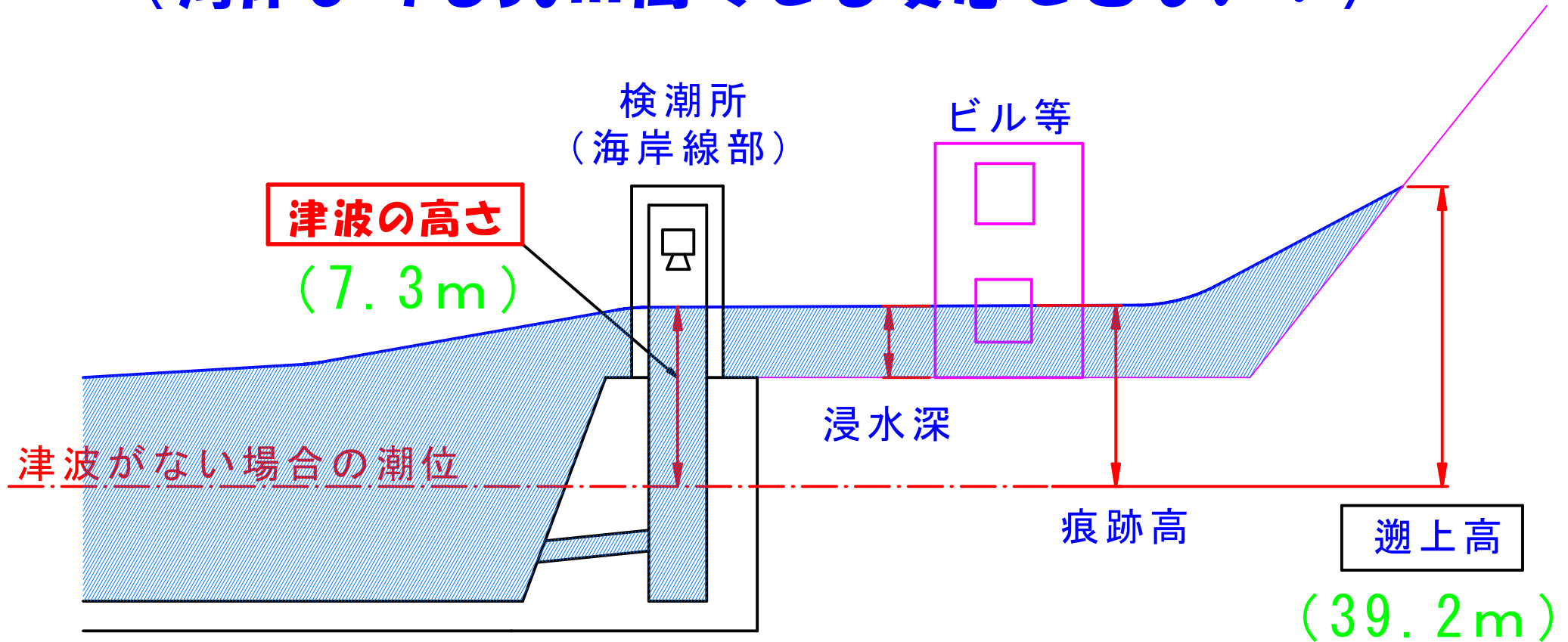
=(鳥取市面積の65%)

=(鳥取県東西100kmとして、海岸から5kmエリア浸水)



# 津波の高さは海岸線部

(海岸よりも30m高くても安心できない！)



津波の高さ7.3mでも遡上高39.2mのケースあり。



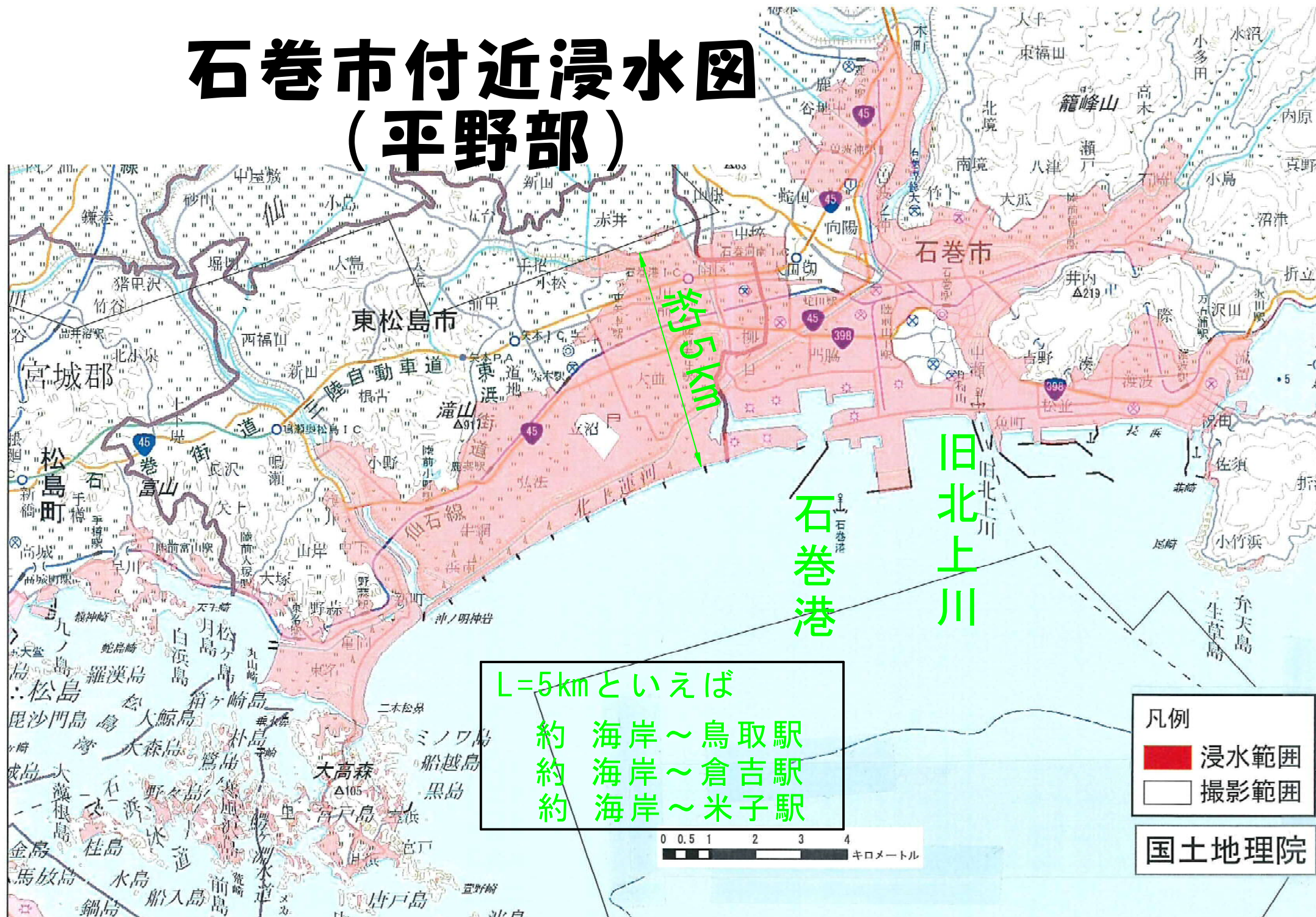
おながわ

# 女川町付近浸水図（リアス式海岸）



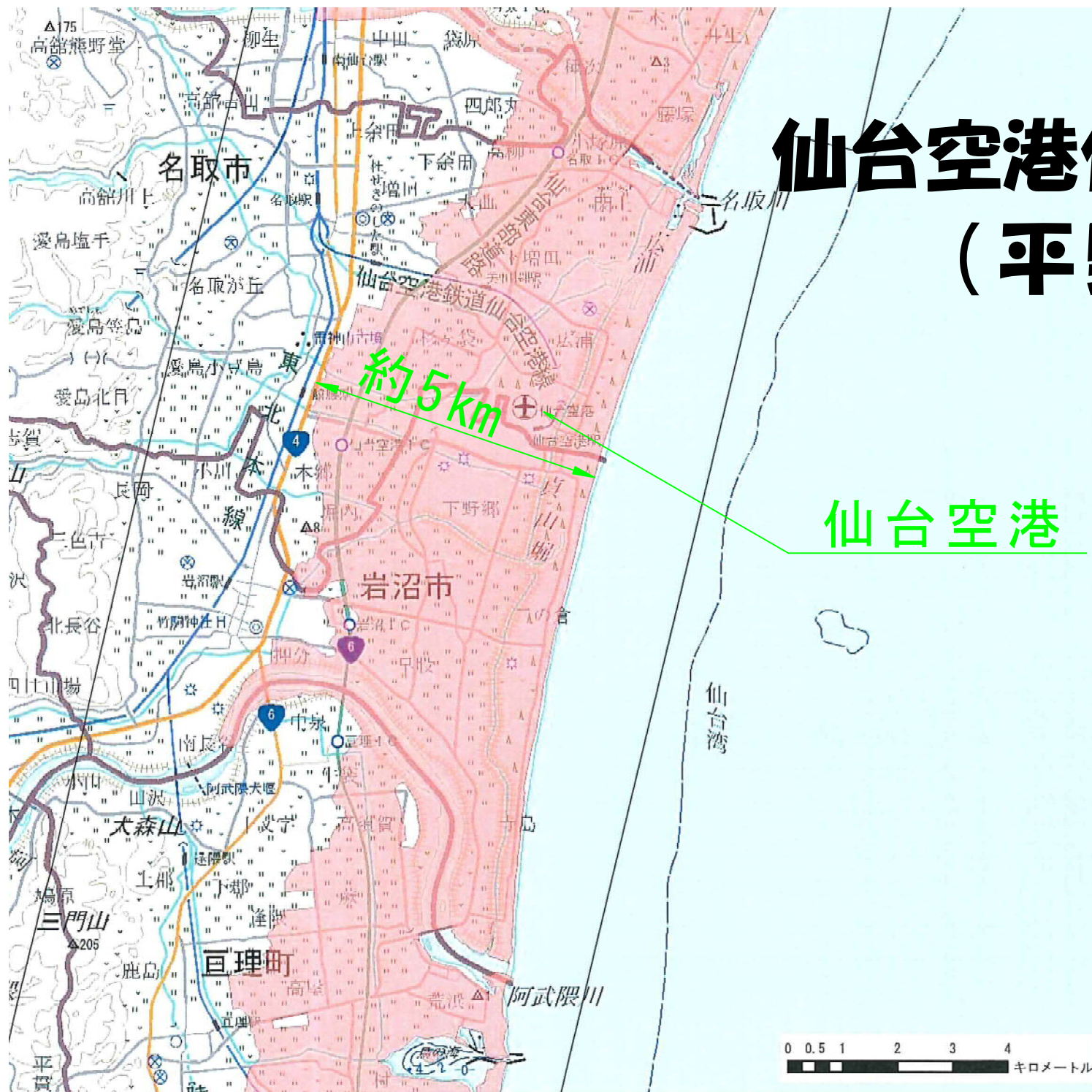


# 石巻市付近浸水図 (平野部)





# 仙台空港付近浸水図 (平野部)



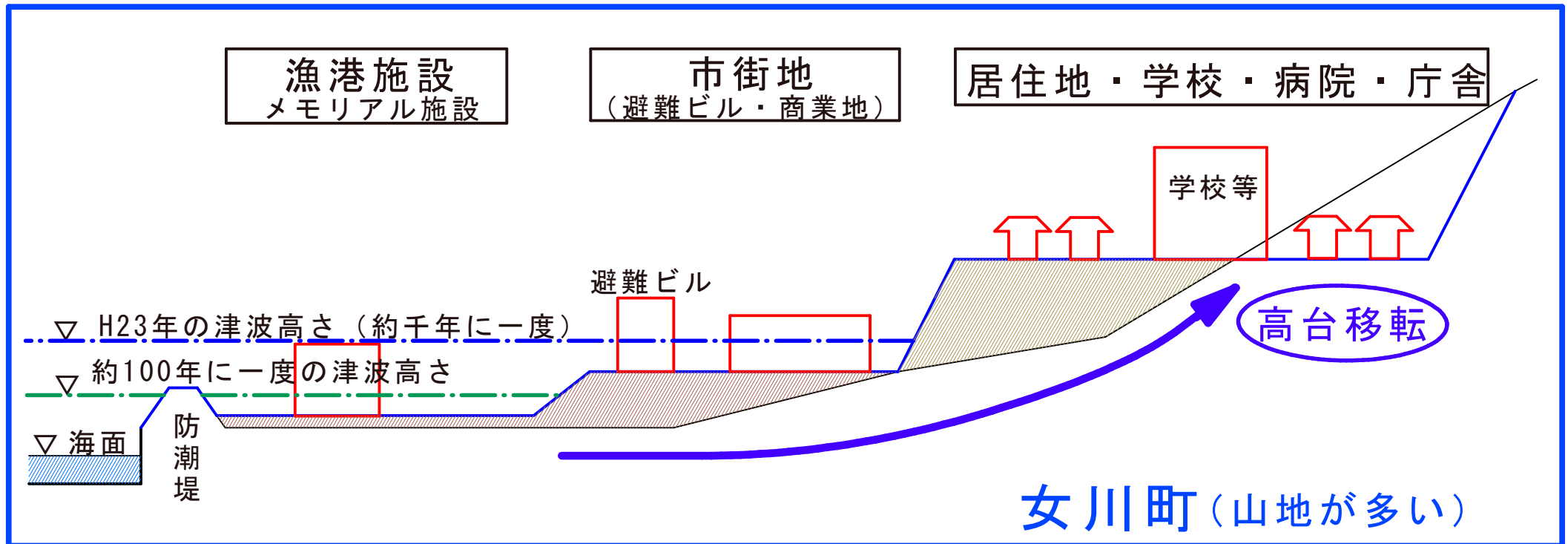
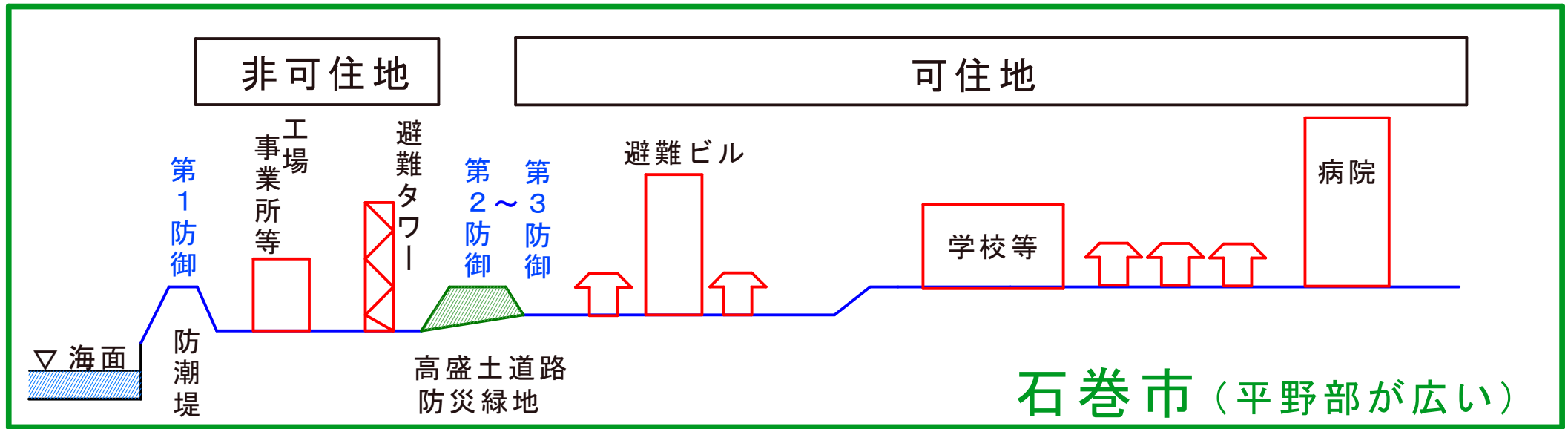
凡例

■ 浸水範囲

□ 撮影範囲

国土地理院

# 津波防御の基本的イメージ



# 国の津波防御の考え方

	レベル1 津波	レベル2 津波
対象とする津波	近代で最大	最大級（H23発生規模相当）
	数十年から <b>百数十年に一回</b> 程度発生	五百年から <b>千年に一回程度</b> 発生
津波防御施設整備の考え方	<b>防災</b>	<b>減災</b>
	人命を守る	人命を守る(避難施設含む)
	<b>財産を守る</b>	経済的損失を <b>軽減する</b>
	経済活動を守る	大きな2次災害を引き起こさない
		早期復旧を可能にする



# 宮城県の復興 進捗状況

( 令和元年8月11日付 宮城県HP 資料より )

復興計画	目標期間	令和2年度までの10年間で復興を達成		
	減災事業	多重防御、集団移転、避難場所の確保等		
復興状況 (R1. 8. 11)	道路施設	開通率	91 %	
	鉄道	復旧率	100 %	
	仮設住宅	入居数	226 人	ピーク時の 0.2 %
	県外避難者		143 人	ピーク時の 1.5 %
	災害廃棄物	処理進捗率	100 %	H26年3月末で終了
	被災商工業者	復旧済	97 %	廃業者除く
	農地復旧		99 %	除塩含む
	漁港復旧		86 %	
	防潮堤	着手	99 %	240km
		完成	45 %	109km

## まとめ

- 日本には **災害を克服する力と知恵** がある
- 河川の整備、土砂災害の防止、**整備する必要性はまだまだ続く！**
- 建設業は、**人の命・財産を守る** 社会資本整備に **貢献できる！**
- **社会貢献** 可能な **コンサルタント業** にチャレンジしませんか！
- **若い力を 鳥取で 活かして・輝かせて** みませんか！

**ご清聴ありがとうございました。**